



Polaris news

【北高新聞 NO.202418】

「段ボール財布をつくろう！」

(2024.7.18)

7月18日、「段ボールはたからもの」の著者で、段ボールアーティスト（段ボールを拾う人）でいらっしゃる島津冬樹さんを講師にお招きし、ワークショップを開催しました。国際理解コース、美術部、ユネスコ委員会、図書委員会の生徒を中心に約50名の生徒が参加しました。図書館イベントの一環でもあり、会場には図書委員のみなさんが選書したアップサイクルやSDGs関連の本も並べられました。

3時間ほどのワークショップでは、1人ひとり、持ってきた段ボールを使って財布を作りました。段ボールを水で濡らし、層をはがす作業に苦労しながらも、楽しんでいる様子でした。また、段ボールを拾いに世界中を飛び回っている島津さんのお話も聞くこともでき、皆興味深く耳を傾けていました。

このワークショップを通して、普段ごみとして捨ててしまう段ボールが価値のある財布に変わる体験をし、アップサイクルとは何かを理解することができました。そして、参加した一部の生徒は、秋に自分たちが講師になってアップサイクルイベントを開催し、子どもたちに教えるという貴重な経験をしました。

